

令和6年度上島町当初予算 (一般会計・特別会計)

主要事業の概要



本資料は以下のルールにより掲載しております。

＊事業は、款ごとに掲載しています。

事業名の後にある主な[]について

[新規]：2024(R6)年度当初予算から新たに始まる事業

[新規(継続)]：2023(R5)年度当初予算には計上されていないが、
補正予算で計上され実施している事業

[継続]：2023(R5)年度以前の当初予算でも計上されている事業

[継続(拡充)]：2023(R5)年度以前の当初予算でも計上されている
事業で2024(R6)年度当初予算から内容を拡充する事業

＊金額は千円単位で掲載しています。



【総 務 費】

総務管理費 企画振興費

ふるさと事業費補助金（企画情報課）

【継続】 1,600 千円

【事業期間 2004(H16)年 10 月～※当面継続】

■事業費内訳：補助金 1,600 【特定財源：雑入 180】

上島町の活性化のために地域住民や団体等が取り組む公共的活動費の全部又は一部を補助するものです。次のような活動に対して補助しています。

■地域活動

- ・ゴミステーションの購入
- ・アサリ復活プロジェクト

■イベント事業

- ・Love&Beat LIVE
- ・ゆげシーサイドフェスティバル
- ・弓削招待、OB サッカー大会



愛媛県立弓削高等学校魅力化プロジェクト（企画情報課）

【継続】 9,545 千円

【事業期間 2017(H29)年 11 月～※当面継続】

■事業費内訳：報償費 262 旅費 1,049 需用費 589 役務費 224

委託料 7,283 使用料 88 負担金 50

【特定財源：過疎債 1,500 雑入 1,596、一般財源：特別交付税 5,985】

上島町唯一の県立高校である「弓削高校」の魅力向上のため、島おこし協力隊が、ゆめしま未来塾講師及び魅力化コーディネーターとして活動・運営しています。

学習指導、キャリア教育、地域連携などにより、生徒の夢の実現のため伴走し、また将来上島町で活躍したいと思える生徒を育むための取り組みを進めています。



移住定住促進事業(移住定住、空き家・空き地バンク)(企画情報課)

[継続] 21,806 千円

【事業期間 2020 (R2) 年 4 月～※当面継続】

■事業費内訳：旅費 1,439 需用費 449 役務費 56 委託料 1,144
使用料 28 負担金 190 補助金 18,500

【特定財源：県費 7,500、一般財源：特別交付税 7,975】

「住みたい町」「住み続けたい町」としての上島町の魅力向上を目指し、島おこし協力隊による移住・定住を促進しています。

ポータルサイトの運営や、空き家・空き地バンクの運用、また、空き家改修、空き家の家財道具等の処分、移転登記等に対する補助支援により、移住・定住者を増やし、多くの空き家に灯りを戻すための取り組みを進めます。



上島町合併20周年記念事業(企画情報課)

[新規] 17,657 千円

【事業期間 2024 (R6) 年 4 月～12 月】

■事業費内訳：報償費 1,250 旅費 136 需用費 4,679 役務費 570
委託料 9,555 使用料 1,467

平成 16 年 10 月 1 日に上島町が誕生し、令和 6 年 10 月 1 日、合併 20 周年を迎えます。

この合併 20 周年の節目を、次の 10 年、50 年という先を見据えた年とするため、町の“歴史”を振り返り、“今現在”の幸せを感じ、“未来”へ繋いでいく機会とする記念事業を実施します。



かみじま音楽祭実施補助事業(企画情報課)

[継続] 15,000 千円

【事業期間 2007(H19)年～当面継続(隔年実施)】

■事業費内訳：補助金 15,000（実行委員会） 【特定財源：雑入 6,185】

島民に都会と変わらぬプロの音楽ライブの提供や、音楽を通じた町内の交流による町の一体感・シビックプライドを醸成し、さらに町外との交流により、上島町を全国・世界に情報発信し、町の活性化を図ります。



■招待プロアーティスト実績

第1回（2007年）BEGIN	入場者数：1,143人
第2回（2009年）THE BOOM	入場者数：中止
第3回（2011年）葉加瀬太郎	入場者数：1,139人
第4回（2013年）BEGIN	入場者数：940人
第5回（2015年）家入レオ	入場者数：1,166人
第6回（2022年）打首獄門同好会&かりゆし58	入場者数：530人

（第6回は新型コロナウイルス感染症予防のため人数制限）

総務管理費 公共交通運営費

今治～土生航路運航維持事業（公営事業課）

[継続] 50,000 千円

■事業費内訳：負担金 50,000 【一般財源：特別交付税 40,000】

今治～土生航路の運航維持を図るため、上島町・今治市・尾道市の3自治体で負担金を支出し運航維持を図るものです。

令和6年度の予算計上額は、令和5年1月～12月期の欠損額に対する上島町の負担金となっています。



令和6年度からの運航予定便数：4便/日

【民生費】

児童福祉費 児童福祉総務費

子育て支援医療費助成事業（住民課）

[継続(拡充)] 22,320 千円

【事業期間 2011(H23)年4月～※当面継続】

■事業費内訳：旅費 9 需用費 98 役務費 131 手数料 751

委託料 551 扶助費 20,780

【特定財源：県費 1,553 過疎債 12,000】

少子化対策として子育て環境の充実を目的に就学前までの医療費完全無料化（0歳から6歳）に加え、町独自の子育て支援策として、小学1年生から18歳になる年度末までを対象に、保護者に対して医療費助成を行うものです。

また、少子化対策としての子育て環境の充実及び物価高騰対策を目的として19歳になる年度初めから22歳になる年度末までの大学生等を対象に保護者に対して医療費助成を行う事業を新たに開始するものです。



※学生等医療費助成は令和6年8月から実施予定

保育料等第2子無料事業（住民課）

[継続] 1,551 千円

【事業期間 2016(H28)年4月～※当面継続】

■事業費内訳：補助金 1,551 【特定財源：過疎債 1,100】

国の制度では、満3歳未満の保育料について、第3子以降無料となりますが、町独自の子育て支援策として、第2子保育料を実質無料とするため、補助金を交付するものです。

えひめ人口減少対策総合交付金事業^(住民課)【新規(継続)】 10,660 千円

【事業期間 2024 (R6) 4 月～※当面継続】

■事業費内訳：需用費 24 役務費 12 委託料 98 補助金 10,526

【特定財源：県費 5,169】

愛媛県と市町との連携による人口減少対策の取組みとして、結婚や妊娠・出産を望む人がその希望を叶えられ、安心して子育てができる環境づくりを図ることを目的に、次の事業を実施します。



(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
結婚新生活支援事業	1,500	新規に婚姻した 29 歳以下の夫婦における住宅関係費用を補助するもの。
出産世帯応援事業	1,700	出産時に夫婦ともに 39 歳以下である世帯における育児用品及び時短・省エネ家電の購入費用を補助するもの。
出産世帯奨学金返還支援事業	3,400	出産時に夫婦ともに 39 歳以下であった世帯における奨学金返還に要した負担額を補助するもの。
多子世帯リフォーム等支援事業	3,300	出産により同居する 18 歳未満の子どもが 2 人以上となる世帯におけるリフォーム費用等を補助するもの。
U I J ターン保育士支援事業	400	県外から町内の保育所に就職する保育士等に対する引越費用等を補助するもの。
出産子育て交通費助成事業	226	妊産婦健診および不妊治療に係る交通費を全額補助するもの。
出会いの場創出支援事業	134	将来上島町に住みたいと考えている独身男性と独身女性との出会いの場を提供するもの。

放課後児童健全育成事業（住民課）

【継続】 7,212 千円

【事業期間】 2008 (H20) 年 10 月～※当面継続】

■事業費内訳：委託料 7,212

【特定財源：国費 2,404 県費 2,404】

弓削・岩城・生名地区の児童を対象にして、放課後及び長期休暇中に児童の健全育成を目的に放課後児童クラブを開設するものです。



子どものインフルエンザ予防接種助成事業（住民課）

【継続】 1,582 千円

【事業期間】 2020 (R2) 4 月～※当面継続】

■事業費内訳：委託料 206 補助金 1,376 【特定財源：過疎債 1,100】

子育て世帯への支援施策として、保護者の経済的負担の軽減及び疾病の重症化の予防を目的に、15 歳までの子どもを対象として、インフルエンザ予防接種費用の一部を助成するものです。



社会福祉費 高齢者福祉費

上島町 75 歳以上優待制度事業（健康推進課）

【継続】 4,500 千円

【事業期間：2017 (H29) 年 9 月～当面継続】

■事業費内訳：使用料 4,500 【特定財源：過疎債 3,200】

高齢者福祉施策として、町内 75 歳以上を対象に生名フェリーの旅客運賃を無料化（優待）するものです。



【衛 生 費】

保健衛生費 保健衛生総務費

脱炭素事業 (住民課)

[継続] 11,186 千円

【事業期間 2023 (R4) 年 4 月～当面継続】

■事業費内訳：委託料 10,186 補助金 1,000

【特定財源：国費 7,639 県費 500】

2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、環境負荷の少ないエネルギー利用を促進し、温室効果ガス排出削減を目指すため、本町では脱炭素事業として、以下の取組を行います。

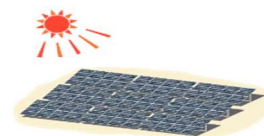
(1) 電気自動車購入費補助金

温室効果ガス排出削減を促進するため、電気自動車を購入する者に対し、必要経費の一部を補助するものです。(200 千円/1 台)



(2) 上島町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定事業

進行する地球温暖化に対し、町民や町内事業者の自主的かつ積極的な取組みを喚起するとともに、町内の自然的社会的条件に応じた温室効果ガスの排出抑制等に向けた取組みを推進するための指針として新たに策定するものです。



(単位：千円)

事業名	事業費	内 訳			
		国費	県費	町費	その他
電気自動車購入費補助金	1,000		500	500	
上島町地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) 策定事業	10,186	7,639		2,547	

保健衛生費 予防費

予防接種事業（健康推進課）

[継続] 22,138 千円

【事業期間 2004(H16)年4月～※当面継続】

■事業費内訳：報酬 88 旅費 10 需用費 17 役務費 316
委託料 21,452 使用料 11 補助金 244

感染症の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的に実施するものです。



【予防接種法に基づく定期予防接種】

- ・小児定期予防接種（日本脳炎、二種混合 等）
- ・高齢者定期予防接種（インフルエンザ、肺炎球菌、新型コロナ 等）

がん対策事業（健康推進課）

[継続] 21,893 千円

【事業期間 2004(H16)年4月～※当面継続】

■事業費内訳：旅費 3 需用費 275 役務費 583 委託料 20,147
使用料 473 補助金 412

【特定財源：個人負担金 4,966】

がんの早期発見の機会促進するため、総合健診の実施及び個別検診の受診促進を図ります。

また、がんをはじめ疾病予防に対する正しい健康意識の普及啓発を図り、健康保持及び増進を図るとともに、がん患者やその家族の負担軽減に向けて実施するものです。

- ・総合健診事業、個別検診事業
- ・脳ドック検診受診費用助成
- ・ウィッグ及び補正具等購入助成
- ・若年がん患者在宅医療療養支援事業 等



【農林水産業費】

農業費 農業振興費

鳥獣害防止対策事業（農林水産課）

[継続] 9,226 千円

【事業期間 2008(H20)年4月～※当面継続】

■事業費内訳：報償費 4,140 補助金 5,086

【特定財源：県費 4,320、一般財源：特別交付税 3,924】

イノシシ・カラス・タヌキによる鳥獣被害を防止するため、上島町鳥獣被害防止計画に基づき、捕獲等に関する取組みとして次の事業を実施します。

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
有害鳥獣総合捕獲事業	4,140	農作物に被害を及ぼすイノシシ・カラスの捕獲許可者の捕獲に対して、定額の奨励金を支払うもの。
鳥獣被害防止総合対策事業	2,270	農作物に被害を及ぼすイノシシ・カラス・タヌキの捕獲許可者の捕獲に対して、奨励金の上乗せ部分を補助するもの。
捕獲隊支援事業	2,816	狩猟者が高齢化で減少傾向にある中、有害鳥獣捕獲を効果的に進めるため、狩猟免許の取得及び更新等、捕獲隊の組織化、捕獲技術の向上に必要な経費に補助するもの。



新規就農者支援事業（農林水産課）

[継続] 9,450 千円

【事業期間 2012(H24)年4月～※当面継続】

■事業費内訳：補助金 9,450 【特定財源：県費 9,450】

新規就農者に対し、就農直後の経営確立のための経営開始資金として、3～5年間にわたり年間150万円/人を、就農後の経営発展のために必要な機械・施設等の導入費用に対して最大375万円/人を交付し、支援する事業です。



農林漁業インターン事業補助金（農林水産課）

[継続] 3,000 千円

【事業期間 2004(H16)年4月～※当面継続】

■事業費内訳：補助金 3,000 【一般財源：特別交付税 1,500】

新たな農林漁業の担い手確保のため、経営に必要な技術習得を支援するもので、月10万円を支給します。最長2年間で、おおむね50歳以下が対象者となります。



水産業費 水産業振興費

水産環境整備事業（農林水産課）

[継続] 121,000 千円

【事業期間 2023(R5)年4月～※当面継続】

■事業費内訳：工事請負費 121,000

【特定財源：県費 83,100 公共事業等債 33,800】

海洋・沿岸域における水産資源の増大と豊かな生態系の維持回復を図ることを目的に魚礁の設置、増殖礁の造成を行うものです。



水産業強化支援事業（農林水産課）

[新規] 575,592 千円

【事業期間 2024(R6)年4月～2025(R7)年3月】

■事業費内訳：補助金 575,592

【特定財源：県費 408,485 過疎債 167,100】

上島町の主要産業であるノリ養殖業において環境変化に適応したノリの生産枚数並びに品質向上を図るため、共同加工施設の整備に必要な経費を補助するものです。



【事業効果】

○ノリ生産枚数

（現状）約 2,000 万枚 ⇒ （目標）約 3,000 万枚

○ノリ単価

（現状）基準 ⇒ （目標）約 3% 向上

○経費

（現状）基準 ⇒ （目標）約 13% 削減

○人件費（労働時間短縮）

（現状）基準 ⇒ （目標）約 31% 削減



【施設概要】

○住所 上島町弓削日比 1228 番地（弓削漁港（浜都地区））

○構造 鉄骨スレート造平屋建て

○設備 全自動乾燥設備（20 連×2 列）

全自動前処理設備、乾海苔選別結束設備、全自動後処理設備

原藻タンク、貯水タンク、重油タンク、ポンプ類、受変電設備

○面積 上屋：約 700 m² タンク等：約 450 m²

○事業実施主体 愛媛県漁業協同組合 弓削支所

○施設管理者 同上

○補助率 国（間接補助）：55% 町：22.5%

【整備スケジュール】

令和 5 年度：地質調査、設計業務

令和 6 年度：施工監理、建築工事、施設整備

令和 7 年度：供用開始

水産業費 漁港建設費

岩城漁港・篠塚漁港・弓削漁港機能保全事業（農林水産課）

（水産物供給基盤機能保全事業）

[継続] 110,000 千円

【事業期間 2012 (H24) 年 4 月～※当面継続】

■事業費内訳：委託料 10,000 工事請負費 100,000

【特定財源：県費 75,200 過疎債 34,800】

地域における水産資源の維持及び増大並びに水産物の生産及び流通機能の強化を図るため、漁港関連施設の整備等を行うものです。



海岸メンテナンス事業（農林水産課）

（旧海岸保全施設整備事業）

[継続] 74,400 千円

【事業期間 2022 (R4) 年 4 月～※当面継続】

■事業費内訳：委託料 38,000 工事請負費 36,400

【特定財源：国費 39,650 県費 9,690 過疎債 25,000】

高潮、津波、波浪などによる被害から海岸を防護し、背後地の安全と財産の確保に資するため、海岸保全施設の整備等を行うものです。



【商 工 費】

商工費 商工振興費

上島町新規創業者等応援事業（観光戦略課） **[継続(拡充)] 6,000 千円**

【事業期間 2018(H30)年4月～※当面継続】

■事業費内訳：補助金 6,000 【特定財源：国費 2,000】

新たな店舗の出店や新規創業等を目指す意欲のあるチャレンジを応援するため、創業者等に対し、改修費、広告宣伝費等の経費の一部を補助することにより、商業活性化の推進を図るものです。

(1) 新規創業支援

町内での創業・起業に向けた手続きや整備等に関する事業

(補助金上限 400 万円、補助率 2/3 以内)

(2) 事業拡大支援

新たな事業展開又は新たな店舗等開設に伴い設備投資等を行う事業

(補助金上限 200 万円、補助率 1/2 以内)



商工費 観光費

ゆめしま海道サイクリング推進事業（観光戦略課） **[継続] 5,500 千円**

【事業期間 2019(H31)年4月～※当面継続】

■事業費内訳：委託料 5,500

【特定財源：国費 2,750 過疎債 1,900】

サイクリングしまなみ 2024 を契機に、更なるゆめしま海道の魅力及び認知向上並びにサイクリスト誘客を図るための事業を実施するものです。

- ・サイクリング×滞在型観光の情報発信
- ・サイクリングガイド養成講習



サイクルフリー事業 (観光戦略課)

[継続] 3,747 千円

【事業期間 2012(H24)年 10月～※当面継続】

■事業費内訳: 需用費 347 役務費 3,400 【特定財源: 国費 90 過疎債 2,600】

しまなみ海道は「サイクリストの聖地」として国内外から注目されており、上島町の「ゆめしま海道」に訪れるサイクリストも年々増加し、岩城橋完成により、ゆめしま海道が全通した今、さらに多くのサイクリストを上島町に呼び込むため、上島町と本土・四国を結ぶ航路を利用する町外サイクリストの自転車料金を無料化としています。

(過去の利用台数)

・ H26.4～H27.3	5,136 台
・ H27.4～H28.3	7,766 台
・ H28.4～H29.3	9,400 台
・ H29.4～H30.3	10,310 台
・ H30.4～R 1.3	10,247 台
・ R 1.4～R 2.3	12,186 台
・ R 2.4～R 3.3	8,107 台
・ R 3.4～R 4.3	7,822 台
・ R 4.4～R 5.3	15,871 台
★R5 年度見込み	14,000 台



サイクリングしまなみ 2024 (観光戦略課)

[継続] 5,602 千円

【事業期間 2014(H26)年～※隔年で当面継続】

■事業費内訳: 旅費 12 需用費 618 負担金 4,972 【特定財源: 過疎債 3,500】

愛媛・広島両県を主体に、しまなみ海道(高速道路)を通行止めにして広域で行う国際サイクリングイベント。国内外からのサイクリスト誘致を目的に開催します。上島町コースは自転車も船も楽しめ、二つの海道を走れることから非常に人気の高いコースです。



【土 木 費】

土木管理費 土木総務費

廃屋解体撤去事業(社会資本整備総合交付金事業) (建設課)

[継続] 12,800 千円

【事業期間 2013(H25)年4月～※当面継続】

■事業費内訳：補助金 12,800

【特定財源：国費 6,400 県費 3,200、一般財源：特別交付税 1,600】

特定老朽危険空家等の廃屋解体工事費の補助をするものです。

最大 160 万円を補助し、廃屋対策を実施します。

(補助対象額：最大 200 万円の 8/10)

1,600 千円×8 戸＝12,800 千円



木造住宅耐震事業(社会資本整備総合交付金事業) (建設課)

[継続] 4,782 千円

【事業期間 2006(H18)年4月～※当面継続】

■事業費内訳：委託料 280 補助金 4,502【特定財源：国費 2,375 県費 823】

木造住宅の耐震診断・設計・工事・施工監理費等の補助をするものです。

事業名	事業戸数	事業費			
			国費	県費	町費
耐震診断(派遣)	5 戸	280	139	60	81
耐震診断(補助)	1 戸	40	10	—	30
耐震設計	2 戸	200	—	—	200
耐震工事施工監理	2 戸	40	—	—	40
耐震改修工事	1 戸	1,020	500	250	270
段階的耐震改修工事	1 戸	500	250	—	250
耐震改修シェルター	1 戸	400	200	—	200
瓦屋根改修	1 戸	552	276	138	138
ブロック塀安全対策	5 戸	1,500	750	375	375
アスベスト	1 戸	250	250	—	—

道路橋りょう費 道路維持費

町道維持管理事業(建設課)

[継続] 39,404 千円

【事業期間 2004(H16)年 10 月～※当面継続】

■事業費内訳：工事請負費 39,404

町の管理する町道等の補修・改良工事を実施するものです。



道路橋りょう費 道路新設改良費

町道舗装補修事業(防災・安全交付金事業) (建設課)

[継続] 13,000 千円

【事業期間 2014(H26)年 4 月～※当面継続】

■事業費内訳：工事請負費 13,000

【特定財源：国費 9,100 辺地債 3,900】

町内既存道路の舗装補修を行い、安全かつ円滑な道路交通網を確保し大規模災害に備えるものです。



町道法面・構造物等対策事業(防災・安全交付金事業) (建設課)

[継続] 16,000 千円

【事業期間 2015(H27)年 4 月～※当面継続】

■事業費内訳：工事請負費 16,000

【特定財源：国費 11,200 辺地債 4,800】

町内既存道路の法面对策を行い、安全かつ円滑な道路交通網を確保し、大規模災害に備えるものです。



地方創生道整備事業(地方創生道整備推進交付金事業)(建設課)

[継続] 45,950 千円

【事業期間 2022(R4)年4月～※当面継続】

■事業費内訳:工事請負費 45,950 【特定財源:国費 29,500 辺地債 16,400】

町道と林道を一体的に整備することにより、観光交流拠点・景観スポットへのアクセス向上、大規模災害に備えた代替ルートの確保を図り、交流人口の拡大及び滞在時間の延長、観光消費額の増加等を目指すものです。



(弓削地区)町道東風浜線

河川費 砂防費

がけ崩れ防災対策事業 (建設課)

[継続] 16,000 千円

【事業期間 2004(H16)年10月～※当面継続】

■事業費内訳:工事請負費 16,000

【特定財源:県費 9,600 緊急自然災害防止対策債 6,400】

がけ崩れの恐れがある住家を守るための対策工事を実施するものです。



浜地区がけ崩れ防災対策箇所

港湾費 港湾建設費

海岸メンテナンス事業(建設課)

[継続] 20,000 千円

【事業期間 2021(R3)年4月～2026(R8)年3月】

■事業費内訳:工事請負費 20,000

【特定財源:国費 11,000 過疎債 9,000】

国の交付金を受け、港湾・海岸施設長寿命化計画に基づいて改修を行い、港湾・海岸施設の延命化を図るものです。



立石港ポンプ場改修

【教 育 費】

教育総務費 事務局費

魚島離島留学事業 (教育課)

【継続】 11,772 千円

【事業期間 2022(R4)年4月～当面継続】

■事業費内訳：需用費 200 役務費 572 備品購入費 500 補助金 10,500

【特定財源：国費 5,406、一般財源：特別交付税 3,360】

魚島特有の自然環境や ICT 教育、少人数教育などを生かした豊かな学びや地域における漁業体験等に興味のある町外の方を対象に、上島町魚島の小・中学校に入学または転校を希望する児童生徒に対し、寄宿舍等を提供し、心身ともに健康な児童・生徒の育成及び学校や地域の活性化を図ることを目的としています。



- ・実施主体 上島町教育委員会
- ・運 営 魚島離島留学推進連絡協議会（各地区代表、学校関係者、教委、計 16 名）
- ・留 学 生 7 名（女子 4 名、男子 3 名）
- ・留学期間 令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日までの 1 年間
ただし、継続を希望する場合は期間を延長することができる。
- ・寄 宿 舎 さざなみ寮水仙（女子寮） 木造 2 階建て 魚島一番耕地 253-1
女子 4 名入寮予定
寮室、管理・宿直室、寮生食事室、寮生共有室、台所、浴室、トイレ 2 箇所、洗面等
さざなみ寮うぐいす（男子寮） 木造 2 階建て 魚島一番耕地 251-2
男子 3 名入寮予定
寮室、管理・宿直室、台所、浴室、トイレ、洗面等
さざなみ寮管理運営スタッフ（予定）
 - ・ハウスマスター（協力隊 3 名）
 - ・宿直員 A 棟 4 名
 - ・宿直員 B 棟 2 名
 - ・調理員 6 名

教育総務費 高等教育振興費

弓削高等学校学生寮運営事業（教育課）

【新規】 22,465 千円

【事業期間 2024（R6）年4月～当面継続】

■事業費内訳：報酬 4,940 手当 941 共済費 957 報償費 1,110 旅費 222
需用費 9,645 役務費 1,059 委託料 2,649 使用料 842
備品購入費 100

【特定財源：国費 7,957 千円 使用料 4,680 雑入 1,000、
一般財源：特別交付税 4,810】

【事業の目的】

上島町唯一の県立高等学校である弓削高等学校の更なる魅力化を図り、地域みらい留学による町外からの留学生受け入れ体制を強化・充実させ、留学生が安心して島での高校生活を送れるよう学生寮を運営するものです。



- ・実施主体 上島町教育委員会
- ・運営 上島町教育委員会
- ・入寮人数 14～15 名程度入寮予定
- ・学生寮 ゆめしま寮

木造 2 階建て 1 人部屋（6 畳）

定員 30 名（1 学年 10 名程度）

【共用部分】

管理・宿直室、食堂、学習室、浴室、洗濯室

トイレ、洗面、バルコニー、談話スペース 等

ゆめしま寮管理運営スタッフ（予定）

- ・ハウスマスター（協力隊 2 名）
- ・学生寮事務員 1 名
- ・宿直員 1 名
- ・高校教員（舎監） ※週 2～3 日
- ・調理員 3 名

弓削高等学校振興対策事業 (教育課)

[継続] 9,500 千円

【事業期間 2013(H25)年4月～当面継続】

■事業費内訳：補助金 9,500

【特定財源：国費 1,106 過疎債 5,000、一般財源：特別交付税 885】

弓削高等学校の振興を目的として、生徒の通学費(船舶定期券)に係る補助や入学祝い金に対する補助を行うものです。

令和3年度からは全国募集に伴う、下宿生に対する補助も開始しています。



(単位：千円)

補助項目	補助額	補助概要
通学定期補助	2,933	船舶等通学生への補助
自転車購入補助	100	通学用自転車購入費補助
集団宿泊研修補助	134	集団宿泊研修参加生徒への補助
公式戦参加補助	1,053	各種公式戦参加生徒旅費補助
入学祝い金	3,800	入学生1人あたり 100,000 円
全国募集補助	880	地域みらい留学フェスタ参加補助
下宿生補助	600	下宿にかかる費用の一部を補助

社会教育費 文化遺産費

埋蔵文化財調査事業 (教育課)

[継続] 7,815 千円

【事業期間 2013(H25)年4月～2026(R8)年3月】

■事業費内訳：報酬 3,963 職員手当 1,033 共済費 660 報償費 156
旅費 186 需用費 297 役務費 64 委託料 960
使用料 496

【特定財源：国費 1,179 千円】

町内の遺跡の保存活用及び重要遺跡の国史跡指定を目標として事業を実施するものです。

- ・宮ノ浦遺跡発掘調査
単独（史跡弓削島荘遺跡とは別）での国史跡指定を目指します。
- ・弓削島荘遺跡発掘調査
史跡の追加指定を目指して、塩田跡、城館跡等の追加調査を行います。



※弓削島荘遺跡（大田林の塩浜、中世寺社等、計7遺跡で構成）については、令和3年10月11日に国史跡に指定されました。

- ・詳細分布調査
町内出土遺物等の収集・整理に努めるとともに、荘園遺跡の保存・活用を図ることを目的として石清水八幡宮領荘園関係の塩田等の調査を行います。

歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業 (教育課) [新規] 9,975 千円

【事業期間 2024(R6)年4月～2029(R11)年3月】

■事業費内訳：報償費 365 旅費 113 需用費 1,079 役務費 85
委託料 8,289 使用料 44

【特定財源：国費 2,500 千円】

国史跡に指定された弓削島荘遺跡を適切に保存活用するために、史跡の総合活用整備事業を実施するものです。令和6年度は、整備基本計画を策定します。



魚島船舶事業会計

業務費 船舶建造費

魚島船舶新造船建造事業

(魚島総合支所産業建設課・公営事業課) **【新規】 67,606 千円**

【事業期間 2024 (R6) 年 4 月～2026 (R8) 年 3 月】

■事業費内訳：工事請負費 67,606 千円

【特定財源：国費 4,867 辺地債・一般交通事業債 62,600】

※債務負担行為による事業 限度額 272,759 千円

鉄道・運輸機構との船舶共有建造制度を利用

現有船「ニューうおしま 2」は平成 16 年に建造されたもので、建造後 19 年が経過し老朽化が進行していることから、令和 3 年度に策定した「航路改善計画」及び魚島航路新船建造委員会にて協議された内容に基づき、鉄道・運輸機構（通称：JRTT）との船舶共有建造制度を利用し、持分割合を決定の上、新造船を建造します。

【魚島船舶新造船仕様概要】

総 ト ン 数：約 52 トン

全 長：約 24 メートル以下

幅 　　：約 5.20 メートル

深 　　さ：約 1.99 メートル

船 殻 構 造：軽合金製

最大搭載人員：船員 3 名 旅客 82 名 合計 85 名

